



卒業式を明日に控え、令和7年度も終わりに近づいています。保護者の皆さまには、今年度も本校の教育活動にご理解・ご協力いただきましたこと、また、学習ボランティアを始め様々な面でご支援くださったことに深く感謝いたします。そして、地域の皆さまにも、子どもたちの安全・安心な登下校の見守り、校内の環境整備や教育活動等、多岐にわたりご支援いただきましたことに感謝申し上げます。

さて、本校は「豊かな心 考える力 学び合う力」を学校教育目標に据え、今年1年、教育活動を展開してきました。最初に掲げた「豊かな心」では、「相手のよさや違いを認め、自分と異なる意見や考えであってもそれらを受け止める柔らかい心」の育成を目指してきました。また、「考える力 学び合う力」では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「自分の思いや考えをもつ」こと、そして、「友だちとともに、学び合うこと、教え合うこと、話し合うことを通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりする姿」を追い求めてきました。

来年度も引き続き、自分や友だちの考えを大切にすること、そして、子どもたちどうしの関わり、つながりを大切に、学び合い、教え合い、話し合いに重きを置いた教育活動を進めていきたいと考えています。



## 6年生の思いがこもった卒業制作

6年生が、小学校での長い月日をかみしめるように黙々と作品に向き合い、卒業制作としてオルゴール箱を作りました。完成まで2か月を要した大作です。

校舎、ランドセル、卒業証書、桜、はばたく鳥など卒業をテーマにした作品、修学旅行や運動会、音楽会など学校生活の思い出をテーマにした作品、サッカーや野球など打ち込んだものをテーマにした作品、花など美しいものをテーマにした作品、自分の好きな模様や図柄をテーマにした作品など、子どもたちのすてきなアイデアが詰まったオルゴール箱がそろいました。

作品を作る上で難しかったこと。それは、彫刻刀の特徴を生かして、絵や模様が立体的に浮き出るように表現することでした。

いつまでも作品を手元に置き、折にふれ、小学生の頃の自分に思い馳せてほしいと思います。



## お世話になった校舎をきれいに（奉仕活動）

卒業を間近に控えた6年生が、思い出のたくさん詰まった校舎を隅々まできれいにしてくれました。昇降口、廊下や階段、壁、流しなど、普通の掃除ではなかなか手の行き届かないところを中心に、丁寧に、掃いたり、ふいたり、磨いたり、こすったりして、ごみやちりや汚れを取り除いてくれました。

一生懸命に取り組んでいる6年生に、どのような思いで奉仕活動をしているのかを聞きました。

- ☆6年間お世話になった校舎に感謝の気持ちを込めてきれいにしたい。
- ☆汚れているところを少しでもきれいにしてバトンタッチしたい。
- ☆校舎をきれいにして、1年生から5年生に気持ちよく使ってほしい。

二宮小学校への感謝の思いをもち、下級生に思いを巡らす優しい6年生。これまでの6年間の月日をふり振り返りながらこの奉仕活動をしていたのだと思います。

6年生の皆さん。見違えるようにきれいになりました。気持ちよく生活ができます。ありがとうございました。



## 4月の入学式に向けて

4月6日(月)に予定されている令和8年度の入学式。その中で、進級したばかりの6年生が新しく二宮小学校の仲間入りをした1年生に歓迎の歌をプレゼントします。3月に入り、その練習が本格的に始まりました。



歌は「二宮小学校校歌」と「にじ」の2曲です。また、歌の前に「歓迎のことば」も贈ります。まだ5年生の子どもたちですが、4月に最上級生になった自分たちの姿を想像しながら、はっきりとよく伝わる声で歓迎のことばや歌の練習をしていました。

その様子から、「いつ6年生からバトンを渡されても大丈夫！」そんな意気込みが伝わってきました。